

令和6年度DX推進リーダー研修事業委託業務
公募型プロポーザルに関する質問と回答

令和6年3月7日
福島県職員研修課

No.	質問内容	回答
1	「令和6年度DX推進リーダー研修事業委託業務仕様書（案）」に記載されている内容は、提案に際しての指針として解釈すべきでしょうか？ 研修項目や日程などは、この仕様書を基にして構築することを想定されていますか？	仕様書（案）は、研修事業の概要を示したものになります。なお、委託候補者から提案された企画提案書等に基づき、仕様書の内容を協議し決定することとなりますが、日程等については、研修会場の都合もあるため、仕様書（案）に示された日程で実施することとなります。
2	参考とする他自治体の優良事例は、講師が直接関わった事例に限定されるのでしょうか、それともより広範な事例も検討対象となりますか？	講師が直接関わった事例以外も含め、参考となるものは全て対象になると考えております。
3	研修の対象となる各所属の部署や、参加される方々の年齢層、職位などの属性について詳細を教えてください。	研修の対象者は、本庁機関のDX推進リーダー50名程度（各課室の管理職1名、40代後半～50代前半）を想定しております。
4	DX推進とデザイン思考は異なる概念ですが、DX推進リーダー研修にデザイン思考を取り入れる理由は何でしょうか？またそれを示す参考資料等がもしあれば教えていただきたいです。	DXは業務改善のための手段であり、本県ではDX推進リーダーの意識改革、行動変容に重点を置いていることから、デザイン思考による考え方も取り入れる必要があると考えております。なお、それを示す資料等は特に準備しておりません。
5	仕事の進め方に関する改善について触れていますが、これは主にデジタルツールを活用して業務の効率化を目指すことに重点を置いているのでしょうか？または、デザイン思考を取り入れて、より効果的に業務プロセスを進めていくというアプローチを指していますか？	業務の効率化、業務プロセスいずれにも重点を置いた研修を実施し、DX推進リーダーの意識改革、行動変容の促進を進めたいと考えております。
6	プロジェクター、ホワイトボードや模造紙、付箋、ペンなどの消耗品は、貴県で用意して頂くことはできますでしょうか。また、PCを用いた実習を行う場合、参加者分の台数を確保して頂くことはできますでしょうか。	必要があれば、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙等は、本県で準備することは可能です。 なお、PCを用いた演習について、現時点では一部職員にしかモバイルPCが配付されていないため、基本的には、当該研修でPCを使用することは想定しておりません（研修のために、受講者分のPCを確保することは困難となります）。
7	提出が求められている講師の講義動画データは、指定されたDVD形式での提供が必須となっていますが、MP4ファイルなどのデジタルダウンロード形式での提出は可能でしょうか？また、テーマは不問となっておりますが、研修実績等を補足する内容として考えたらよろしいでしょうか？	MP4ファイルによるデジタルダウンロード形式での提出でも構いません。指定期日までに提出をお願いいたします。なお、講義動画は、講師の評価（説明の分かりやすさ等）のために使用するものになります。
8	第1回と第2回の研修の間に受講者とコミュニケーションツール（Slack）等で連絡を取ることは可能か	第1回と第2回の研修の間で、委託者から受講者への連絡は想定しておりませんでした。なお、本県ではSlack等は導入しておらず、どうしても受講者とのコミュニケーション等が必要となる場合には、メール等を活用することとなります。
9	仕様書の第1回の研修項目に各所属で実施しているDXの取組とあるが、現在何か各所属でDXに関する取組をされていることでしょうか	一部の所属ではRPAや試行的に電子決裁を導入しております。なお、それ以外にもペーパーレスや議事録作成支援システムによる業務改善など、各所属それぞれの取組を共有し横展開することで、DX推進リーダーの意識改革、行動変容の促進につなげたいと考えております。